

# 城辺町 ムツウサ特産化に自信

## 専門家が研究成果発表

### しま興し 抗動脈硬化作用も 講演会

城辺町(仲間町長)が特産化を推進している宮古ビデンス・ピローサ(方言名・ムツウサ)の研究発表などを発表する「第二回地域資源を活かしたしま興し講演会」(主催・城辺町、共催・㈱武蔵野免疫研究所、かきすま宮古)が十八日午後、マティダ市民劇場で開かれ、各分野の専門家が宮古ビデンス・ピローサの優れた特長などを報告した。この中では、血液の流動性を良くする効果や抗酸化作用、抗動脈硬化作用を有することなどが紹介された。会場には多数の人々が訪れ、雑草とされてきたムツウサの長所に認識を深めていた。

進作用を有することを紹介した上で、▽活性酸素を除去する▽糖尿病時の過酸化を抑制する▽胃潰瘍時の過酸化を抑制する―と報告した。飯島氏は

同講演会は、医療現場 星薬科大学臨床化学教室での効果や化粧品業界での活用状況などを地域住民に情報提供することなどを目的に開催したもの。院皮膚科の飯島茂子部長

が「かんぼう茶が血液レオロジーに及ぼす影響」を報告し、その有効性を認め、西城中の砂川侑里さん、上地かおりさん、与那原あかねさんが城辺町西中の工場見学について発表した。

このうち、瀬山氏は「ビデンス・ピローサの特色として抗酸化作用や抗動脈硬化作用、創傷治癒促進作用を有すること」を紹介した上で、▽活性酸素を除去する▽糖尿病時の過酸化を抑制する▽胃潰瘍時の過酸化を抑制する―と報告した。飯島氏は



しま興し講演会で研究成果や見学の感想などを報告した発表者ら。マティダ市民劇場



会場には多数の人々が訪れ、研究成果に耳を傾けた

宮古ビデンス・ピローサが血液の流動性を良くする効果があるか否かについて述べ、かんぼう茶が血小板凝集能を抑制することにより、血液の流動性が良くなる研究結果が得られたことを報告した。主催者を代表してあいさつした仲間町長は、宮古・城辺町を中心に栽培したビデンス・ピローサが特に良い結果が得られていることについて特産化に自信を見せた。また、宮古市町村会の川満省三副会長が地場産業として成長することに期待を寄せたほか、砂川佳一県議が流通体制確立などによる産業育成の必要性を強調した。

この日は講演会に引き続き、マリンターミナル研修室で研究会も開かれ、最新の研究成果について報告・論議した。